

地域とともに育つ コミュニティ・スクール

令和6年12月10日

成田市教育委員会

学校運営協議会では、各学校で学校運営の基本方針の承認を受けて、具体的な教育活動について話し合いが行われています。承認とは、目標を共有し、よりよい学校を共につくっていかうとする意志確認（Let's）となります。学校運営や必要な支援に関する協議をおこない、それぞれの地域がもつ特色を教育活動に生かすための効果的な人材活用が図れるよう、コミュニティ・スクールの機能を果たす組織が整ってきています。

学校運営協議会の様子

それぞれの学校でどのような協議がされているのか、紹介いたします。

久住小学校

学校評価の考察を基に、現状の学校の課題について、協議が行われました。



●家庭学習・読書習慣をつけるにはどうしたらよいか

→学校と家庭の連携を図り、家庭の協力も必要であるとの意見から、しおりを作成して配付する等、読書の啓発を図る活動の工夫や現在実施しているボランティアによる読み聞かせを増やしていく等のアイデアが出されました。

●授業参観・学習環境について

→保護者はゆっくりと授業参観できるように設定されているが、さらに、開かれた学校づくりのための工夫を検討していくとよいのではという意見が出されました。また、ICTの活用について、活用の幅が広がっており、学習の個別化や情報の共有化が図られているので、さらに、学年単位だけでなく、学校全体として使い方のルールや活用状況について、統一できるとよいのではないかと意見が出されました。

●地域との連携について

→地域で協力できることは働きかけていき、学校支援地域本部との連携を図っていきたいとの声がありました。

公津小学校

学校評価の考察を基に、現状の学校の課題について、協議が行われました。



●あじさい運動について

→あじさい運動により、あいさつが大変よくできるようになっているので、地域に貼ってあるあじさい運動のポスターが、公民館にも貼ってあるとさらに地域に周知できてよいという意見が出されました。

●児童理解と学習環境整備について

→児童一人一人に応じた支援や学習環境が整備されているので、さらに、学校全体で共通理解して取り組んでいくと児童の可能性を引き出すことができるのではないかと意見が出されました。

●授業参観について

→授業参観では、保護者だけでなく、家族で参観している方が多く、地域に開かれた学校として、公津小のよさがうかがえる。授業内容は児童に考えさせたり、ICTを活用したりと、個別最適な学びと協働的な学びの工夫がある。授業の様子だけでなく、休み時間等日常の様子も参観できると学校全体の様子も把握でき、学校評価との関係も検証できるのではないかと意見が出されました。